

株主の皆様へ

第 1 6 3 期 株 主 通 信

平成 2 1 年 4 月 1 日

▼
平成 2 2 年 3 月 3 1 日



ニッピペブタイド

nippi. incorporated

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素より温かいご支援と格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第163期の当社グループの連結事業に関してご報告申し上げます。なお、当連結会計年度より報告書の名称を「事業報告書」から「株主通信」へと変更させていただきました。これからもよりわかりやすいご報告を心がけてまいります。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国の金融危機に起因する景気後退が長期化する中、企業収益の改善等により景気の持ち直しの兆しが見えておりますが、不安定な為替環境、厳しい雇用情勢、低調な所得環境が続いていることから不透明な経済状況で推移しております。この様な状況の中で、当社グループは主力商品であるコラーゲン・ケーシング、ゼラチン、ペプタイドをはじめ、コラーゲン関連商品、皮革関連商品の拡販施策の展開を図り、利益体質の強化に努めてまいりました。

この結果、売上高は前連結会計年度に比べて減少したものの、販売戦略の見直しおよび採算を重視した営業活動等が功を奏し経常利益は増益となりました。今後の重要な経営課題といたしましては、引き続きお客様のニーズにお応えしつつ価格競争力のある商品開発に取り組み、一層強固な経営組織の構築に努めてまいります。なお、当社新社屋の建設は昨年12月に着工し、本年11月末に竣工する予定で順調に進捗しております。

今後とも全社一丸となって社業の発展に励むとともに、株主の皆様のご期待にお応えできるよう邁進してまいりたいと存じます。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

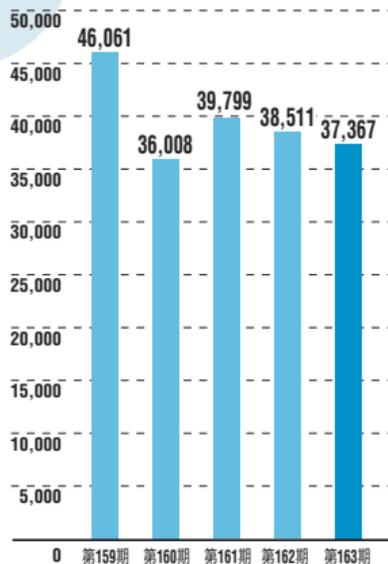


代表取締役社長

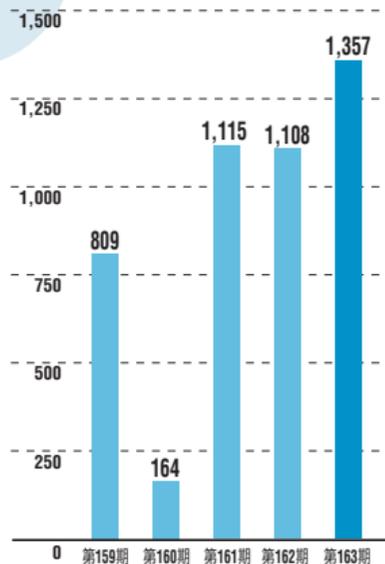
伊藤隆男

平成22年6月

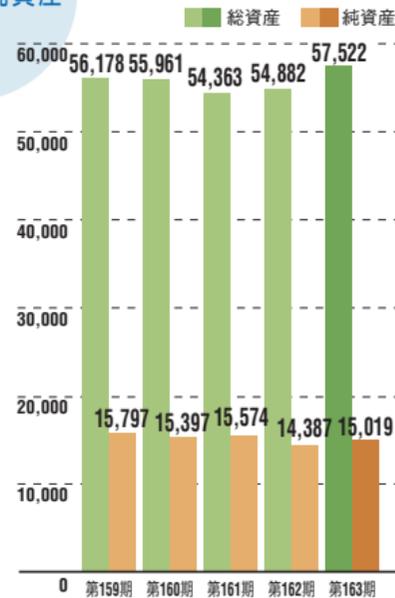
売上高



経常利益



総資産／純資産



【トピックス】

- ① コラーゲン・ケーシングの国内販売、健康食品分野のペプタイトの売上げが前期と比べて大きく伸長しました。
- ② 生産コスト・販売価格の見直し、新規取引先の開拓等が功を奏し、売上原価の削減が図れました。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	（単位：百万円）	
	第163期 (平成22年3月31日現在)	第162期 (平成21年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	19,842	18,577
固定資産	37,670	36,290
有形固定資産	33,249	31,970
無形固定資産	57	24
投資その他の資産	4,363	4,295
繰延資産	10	14
資産合計	57,522	54,882

（単位：百万円）

科 目	（単位：百万円）	
	第163期 (平成22年3月31日現在)	第162期 (平成21年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	20,873	21,670
固定負債	21,629	18,824
負債合計	42,503	40,495
純資産の部		
株主資本	7,153	6,635
評価・換算差額等	7,490	7,414
少数株主持分	376	337
純資産合計	15,019	14,387
負債及び純資産合計	57,522	54,882

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第163期	第162期
	（平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで）	（平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで）
売上高	37,367	38,551
売上原価	28,708	30,351
販売費および一般管理費	6,471	6,597
営業利益	2,187	1,562
営業外収益	100	170
営業外費用	930	624
経常利益	1,357	1,108
特別利益	4	21
特別損失	182	1,083
税金等調整前当期純利益	1,180	46
当期純利益（△損失）	612	△426

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第163期	第162期
	（平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで）	（平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,088	570
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,719	△1,570
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,420	771
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△5
現金及び現金同等物の増・減（△）額	1,796	△233
現金及び現金同等物の期首残高	4,110	4,344
現金及び現金同等物の期末残高	5,907	4,110

コラーゲン
事業

コラーゲンを原料としたソーセージの皮“コラーゲン・ケーシング”の製造販売を行う国内唯一の、また世界第3位のメーカーとして活動しています。ソーセージは羊や豚の腸に肉を詰めて製造されてきましたが、製造現場の機械化・大型化・大量生産化に伴い、より均質で扱いやすく衛生的なコラーゲン・ケーシングが注目を集め、その需要が高まっています。

ニッピコラーゲン・ケーシングはこうした需要に応え、特に高速充填機によるソーセージ生産のために独自で開発した製品です。当社グループの中でも売上高の3分の1を占め、その約7割が海外に輸出され世界30カ国の「食卓」へ運ばれています。

当社はより豊かで安全な食生活の実現のため、現製品の安定供給は勿論、新規製品の開発に取り組むとともに、お客様のご要望にきめ細やかに対応しています。



ゼラチン
事業

ゼラチンは、タンパク質の一種であるコラーゲンから抽出したものです。ゼラチンをさらに低分子化して、味・ニオイ・色を取り除いたものがコラーゲンペプチドとなり「コラーゲン」の名前で広く流通されています。当社のゼラチンおよびコラーゲンペプチド（ニッピーペプチド）は健康食品をはじめ、多岐にわたる分野で利用されています。

70年以上の歴史を有する当社ゼラチン事業は、市場の移り変わりとともに工業用、医薬用、食品用等幅広い分野へと展開し、また、原材料についても世情を反映し牛皮・牛骨原料から豚・魚原料へと柔軟に対応してきました。現在は高い技術力によって開発されたニッピーペプチドを主軸に、安全で高品質なゼラチンを豊富な品揃えで提供しています。



化粧品事業

1984年にコラーゲン配合化粧品の開発に着手し、1987年から「スキンケアクリーム」の販売を始めました。以来コラーゲン化粧品のパイオニアとして多くのお客様からの信頼とご支持をいただき、現在は「ニッピコラーゲン スキンケアクリーム ナノアルファ」としてご愛用いただいています。また、「コラーゲン100」を主力商品とする健康補助食品やコラーゲン関連化粧品を多数取り扱い、お客様の美と健康をサポートしています。



皮革事業

当社は1907年に創業して以来一貫して皮革生産に携わり、日本皮革産業のパイオニアとして邁進してまいりました。皮の主要タンパク質であるコラーゲンに関する研究から、現在の支柱事業となるコラーゲン関連製品が生まれ、現在のニッピが在ります。当社の基幹事業でありました皮革製造は経営効率の観点から2006年にやむを得ず中止いたしました。皮革関連製品の販売はグループ会社が引き継いでいます。特に車輛用革については、永年に亘って蓄積した高い技術が引き継がれ、高い評価をいただいています。



リンカー部門

当社独自の架橋技術によって開発された「ニッピリンカー®」は耐熱電線やゴルフクラブ等をコーティングする際のマスキングフィルムとして利用されています。また塩化ビニル発泡体「ニッピフォーム」はその加工の容易さで広く雑貨等に用いられています。



バイオ
マトリックス
研究所



1921年に独立した組織として研究所を設立して以来、皮革、ゼラチン、コラーゲンに関する研究を精力的に行なってきました。1960年には世界に先駆けてコラーゲンの可溶化に成功し、その後の研究開発によって化粧品や食品分野におけるコラーゲン利用への門を開きました。現在では、コラーゲンを中心とした細胞外マトリックスの生化学、細胞生物学、生体工学的な研究を行い、当社の次世代の事業の種を生み出すことを目的に活動しており、それらの成果として「コラーゲンコート細胞培養容器」や「ニッピブルBSE検査キット」、試料破碎器具の「バイオマッシャー®」等を世に送り出し高評価を得ています。

(平成22年3月31日現在)

■ 会社の概要

商号	株式会社ニッピ
設立年月日	1907年(明治40年)4月1日
資本金	35億円
従業員数	425名
本社	東京都足立区千住緑町1-1-1
主な事業内容	コラーゲン・ケーシング、ゼラチン、その他コラーゲン関連製品の製造販売および皮革関連製品等の販売
ホームページ	http://www.nippi-inc.co.jp/
主要取引銀行	みずほコーポレート銀行 三菱東京UFJ銀行 みずほ信託銀行 三井住友銀行

■ 取締役及び監査役

代表取締役社長	伊藤隆男
常務取締役	石井英文
取締役	吉原道博
取締役	浅川史朗
取締役	一蝶彬
取締役	河村桂作
取締役	伊藤利男
監査役(常勤)	工藤協一
監査役(常勤)	関田安彦
監査役	大倉喜彦
監査役	伊藤敬四郎

(平成22年3月31日現在)

■ 株式の状況

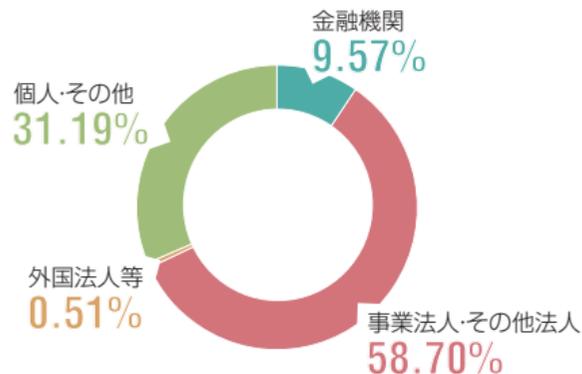
発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	11,954,324株 (自己株式45,676株を除く。)
株主総数	1,041名

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社リーガルコーポレーション	2,787	23.31
大成建設株式会社	700	5.85
中央建物株式会社	582	4.86
株式会社ホテルオークラ	553	4.63
東京建物株式会社	500	4.18
昭栄株式会社	366	3.06
株式会社みずほコーポレート銀行	349	2.91
みずほ信託銀行株式会社	300	2.50
東海パルプ株式会社	250	2.09
前川義秋	245	2.04

(注) 1.千株未満は切り捨てて表示してあります。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

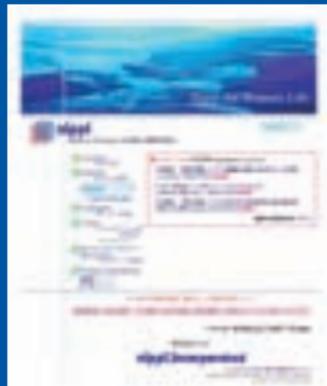
■ 所有者別持株比率



■ 本社外観



HPのご案内



<http://www.nippi-inc.co.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める
配当金受領株主確定日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
1単元の株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
（郵便物送付先）	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	0120-288-324（フリーダイヤル）
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

【株式に関するお手続きについて】

1. 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更、買取請求その他お手続きおよびご照会は、口座のある証券会社（口座管理機関）宛にお願いいたします。
2. 株主名簿管理人（みずほ信託銀行）の特別口座に記録されている株式につきましては、上記の郵便物送付先および電話照会先にお問合せください。
なお、みずほ信託銀行株式会社本店・全国各支店およびみずほインベスターズ証券株式会社本店・全国各支店でもお取扱いいたします。
3. 未払配当金の支払、支払明細発行につきましては、上記の郵便物送付先および電話照会先にお問合せください。

お問い合わせ先

株式会社 

〒120-8601 東京都足立区千住緑町 1-1-1 TEL 03-3888-6651

表紙写真：ニッピーペプタイト®

